

2012. 7. 11



# NPOフォーラム・だより No.48

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://ameblo.jp/awabunka1>

## ■ 知恵袋講座

…13:30～小高記念館 参加費 200 円 NPO メンバーが語る楽しい茶話会です！

◎ 7月25日(水) 語り手：河辺智美さん「安房からウガンダの交流・支援活動」⇒**今回のみ水曜日です！**

愛沢授業実践をきっかけに旧安房南高校生から始まったウガンダ支援活動は、安房平和のための美術展など地域に根付いて 20 年になります。東洋大学国際地域学部4年の河辺さん(安房高出身)が、昨年ウガンダ研修で視察訪問した見聞報告をします。

◎ 8月28日(火) 語り手：小谷福哲さん「青木繁が滞在した頃の小谷家」

小谷家住宅の若当主が、古文書などからみえてきた当時の様子や、青木繁の生まれ故郷・福岡県久留米市の皆さんとの交流などをご報告します。

◎ 9月25日(火) 語り手：増岡隼治さん「鋸南町よい演劇を観る会のあゆみ」

戦跡ガイドや鋸山ガイドで活躍される増岡さんは、1987 年以来続いている「鋸南町よい演劇を観る会」のリーダーです。10 月 14 日には『満月の人よ』(村井国夫ほか出演)を上演予定。

## ■ 紙芝居「八犬伝」& まちなかウォーク ～銀座ふれあい祭り

帽子・飲物など熱中症対策を！

◎ 8月5日(日) 集合＝14:30 館山銀座商店街振興組合ビル 参加費＝おとな 200 円・小中高 100 円(サービス券付)

午前は赤山地下壕ガイドサービスもやってます。午後は、紙芝居『里見八犬伝』を見てから、駅前商店街周辺を歩いて、まちなか歴史文化を再発見！津波から人命を救った「サイカチの木」などなど。ゴールは、銀座ふれあい祭りでご休憩を。参加者にはオマケで、金券 200 円がサービスでつきます。

## ■ 戦跡ガイド研修(東京バスツアー)

**要予約**

参加費＝3,500 円(バス代・入館料等) 定員 20 名

◎ 8月12日(日) 集合＝8:30 館山市役所4号館(旧市民センター)P ～ 18:00 頃帰着予定

①東京大空襲・戦災資料センター ②江戸東京博物館の講演会「検証！旧陸軍登戸研究所の全貌」

本土決戦の準備が進められていた館山からも、大空襲で赤く染まる東京の上空が見えたといひます。また、旧陸軍登戸研究所(川崎の明治大学生田校舎)では、最終兵器として使われた“風船爆弾”、細菌兵器・スパイ用兵器、中国で資材取引に使われた“偽造紙幣”などが研究開発されていました。風船爆弾は房総一宮の砂を利用したことが戦後分かってきました。明治大学の研究者や証言者によるパネルディスカッションを聴講します。

## ■ NPO夏まつり懇親会&ウガンダ支援バザー

◎ 8月26日(日) 12:00～15:00 会場:北条海岸の和田休憩所(立教キャンプストアとなり)

夏の終わりの潮風を浴びながら、NPOメンバーの親睦を兼ねて、ウガンダ AWA-MINAMI 支援バザーを開催します。参加費 500 円で金券と交換、飲食、バザー一品を買うことができます。10:30 から準備を手伝ってくれるスタッフを募集中です。仕掛け人に連絡をお願いします。

小沢さん(0470-28-0973)または関さん(090-9342-3638)

スタッフ  
募集中！

## ■ 1945.9.3 アメリカ占領軍の館山上陸と「幻の三公布」学習会

◎ 9月3日(月) 13:30～15:00 会場:館山地区公民館

「BS歴史館」で放映された終戦時の米占領軍と日本外務省の機密交渉と館山の「直接軍政」を鑑賞します。

## ◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

7月14日(土) 10:30～11:30 大原自治会(小田急トラベル) 40 名＝赤山のみ

7月15日(日) 9:30～13:30 新婦人の会東村山支部 15 名＝座学・赤山・かいた村

8月 5日(日) 9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

14:30～16:30 紙芝居八犬伝&北条まちなかウォーク

8月 6～7日(月火) 歴史教育者協議会全国大会 現地見学会 ＝戦跡・四面石塔

8月 7～8日(火水) 星野高校美術部スケッチツアー 15 名＝布良

8月 23日(木) 10:00～15:00 志学館中学 6 名＝座学・赤山・掩体壕・大房

9月 2日(日) 9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

終戦の日 8月15日  
かいた婦人の村で  
慰霊祭があります。  
希望者は事務局まで。

## 青木繁「海の幸」オマージュ展のボランティア協力をお願い

渚の博物館（館山市立博物館分館）で青木繁「海の幸」オマージュ展が始まりました。オマージュとは称賛を意味し、NPO 法人青木繁「海の幸」会（全国の美術関係者による組織）が小谷家住宅保存を目的に開催するチャリティ展覧会です。6月26日から9月2日までの長期にわたるため、館山市立博物館より会場の監視受付のボランティアスタッフの協力要請がありました。特に夏休み中の土日を中心に、受付・見回り業務のお手伝いです。開館時間は9:00～16:45ですが、半日でも終日でもOKですので、可能な方は事務局までご連絡ください。池田 090-6479-3498・愛沢 090-9688-5799・関 090-9342-3638

■ **布良という聖地へ行こう** =文化庁補助事業「地域の文化遺産を活かした観光振興と地域活性化」=  
主催：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、NPO安房文化遺産フォーラム

\* 「小谷家住宅」公開見学日 館山駅からJRバス関東で20分「安房自然村」下車、徒歩2分

◎ 7月14日(土)・7月22日(日)10:00～12:00 / 8月5日(日)・8月19日(日) 13:00～16:00

青木繁が滞在した「小谷家住宅」は館山市指定文化財ですが、ご高齢の小谷家当主ご夫妻がお住まいの住宅のため、通常は一般公開されていませんのでご注意ください

\* 館山の芸術・文学散歩バスツアー 要予約 参加費＝2,000円(昼食・資料代等)

◎ 9月1日(土)・10月6日(土)10:00～16:00 集合・解散＝JR 館山駅西口

古くから画家や文人墨客に愛された風光明媚な南房総・館山は、多くの芸術や文学が生まれています。神話のふるさと・布良で《海の幸》を描いた青木繁を題材に、林芙美子が小説『夜猿』を書いています。西岬には、ファッションデザイナーの先がけとして一世風靡し、晩年に療養生活を送った中原淳一の詩碑があります。どこをめぐるか、乞うご期待！

### 第9回 同心展

7月1日(日)～13日(金)

南総文化ホールギャラリー

元館山高校の職員仲間が開くグループ展。当NPOの愛沢伸雄さんが新作の多色刷り版画3点、船田正廣さんが刻画『海の幸』・水彩画『小谷家住宅』のほか、木彫で天富命と天太玉命を出展しています。

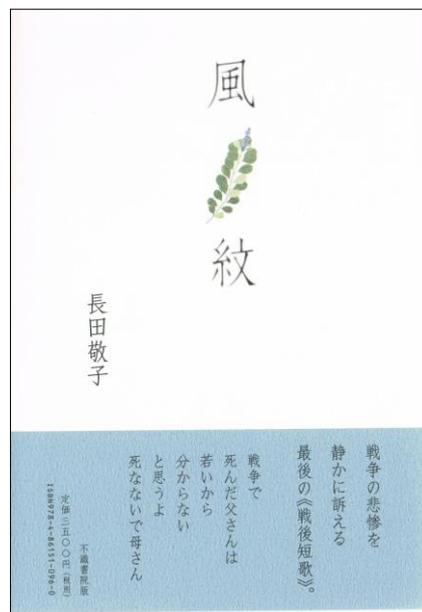
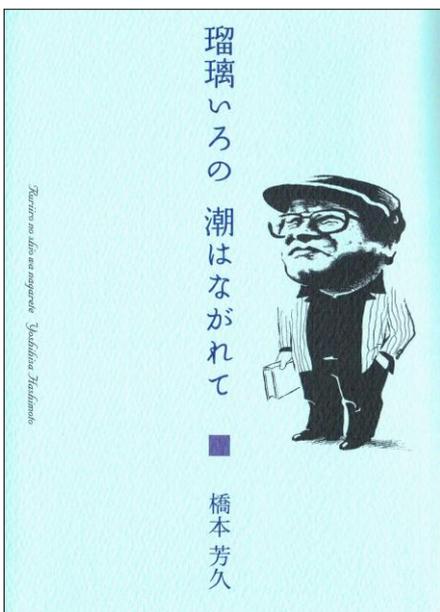
### 第8回安房・平和のための美術展

8月31日(金)～9月9日(日)

枇杷倶楽部ギャラリー

安房に暮らす美術家たちが心をひとつに平和を願い、チャリティで開く展覧会です。今回からポスターチラシのシンボルが、ずっと支援を続けてきたウガンダの子どもたちの絵になりました。

\* NPO会員のお二人が、本を出しました。



#### ◆ 橋本芳久

「瑠璃色の潮はながれて」

戦中戦後に多感な青春を過ごし、平和と人権を人生の柱とし、文化・芸術を愛し、生きてきた強さと温もりが伝わります。

=1,700円(税別)=

#### ◆ 長田敬子 「風紋」

戦争の悲惨を静かに訴える。最後の《戦後短歌》。

戦争で死んだ父さんは  
若いから分からない と思うよ  
死なないで母さん

=3,500円(税別)=